

逆引きDICOMセミナー

DICOM規格 詳細 第1~3章



本日のDICOM逆引きセミナーについて

目次

1	DICOM	11	ワークステーション
2	RISとモダリティ	12	レポート機能
3	PACSとモダリティ	13	動画
4	画像保存	14	治療
5	Viewer関連	15	歯科
6	Viewerで受信した画像と画像情報の表示	16	線量管理
7	計測	17	DICOM規格のサービス
8	文字表示		
9	印刷・出力		
10	可搬型外部媒体		
付録1	詳細説明	付録3	用語解説
付録2	通信トラブル発生時の対応方法	付録4	ウェブ上の情報源

今回のセミナーでは、 から中項目の”Q”を選んで解説します。

- DICOM委員会
 - 会員企業を代表してDICOM Standards Committee(事務局米国NEMA MITA)に参加し、関連団体とともにDICOM規格の普及及び我が国の臨床現場で必要となる画像情報関連規格の企画検討を行っております。
- 規格の制定、拡張、改定
 - DSC及び各種WGに参加
 - 会員企業、関係団体の標準化の支援
- 普及推進
 - セミナーの企画及び実施
 - 関係団体への講師派遣

読んで、使って頂きたい読者について

こんなときに、どうしたらいいの？

日常で起こる“トラブルや疑問”を題材に、ユーザが知っておくべき“基礎知識・初期対応”などを中心にまとめました。トラブルの早期解決につながるよう、“ベンダに問合せる前に、調べておくの良い情報”の事例なども整理しております。

「1人でトラブルを解決しなければならない！ 身近に頼れる人がいない！」

そんなときに、解決のヒントを教えてくれる「誰か」として使ってください。

ベンダの方へ（JSRTから）

私たち技師が「何を知りたいか、どんな解決策を求めているか」を知ってもらうために、日々の業務経験をもとにまとめました。営業・サービスの方だけでなく、カタログやマニュアルを作る方にも読んで頂きたい1冊です。

本書は、JSRTの有志の皆さんとJIRA DICOM委員会が協力して作成しました。

本書の使い方について

本書の見方

本書は、大項目、中項目、小項目からなっています。逆引きは中項目と小項目にあります。

大項目

中項目

小項目

中項目、小項目は右ページ以降の目次を参照してください。

6 Viewerで受信した画像と画像情報の表示

6.1 アノテーション関連

6.1.1 アノテーションってなんでしょうか

アノテーションとは、画像に追加できる注釈のことで、表6.1に示すように患者氏名、患者ID、検査日時、撮影条件画像などを表示できます(図6.1参照)。

ただし、モニタなどに表示している内容を画像として保存した場合は、氏名などの情報が画像と一体となっている場合があります。この場合はViewerなどの機能で「アノテーションを表示しない」としても表示を消すことはできません。

参照ページ。(6.1.3)は「大項目6の中項目1の小項目3」です。(6.1.3)

(付録1:8)は「付録1の中項目8(小項目はありません)」を参照。

項目番号	大項目タイトル	ページ
1	DICOM	1
2	RISとモダリティ	7
3	PACSとモダリティ	13
4	画像保存	25
5	Viewer関連	35
6	Viewerで受信した画像と画像情報の表示	49
7	計測	59
8	文字表示	63
9	印刷・出力	69
10	可搬型外部媒体	73
11	ワークステーション	83
12	レポート機能	85
13	動画	91
14	治療	99
15	歯科	103
16	線量管理	105
17	DICOM規格のサービス	113

付録1 詳細説明 / 付録2 通信トラブル発生時の対応方法 / 付録3 用語解説 / 付録4 ウェブ上の情報源

目次

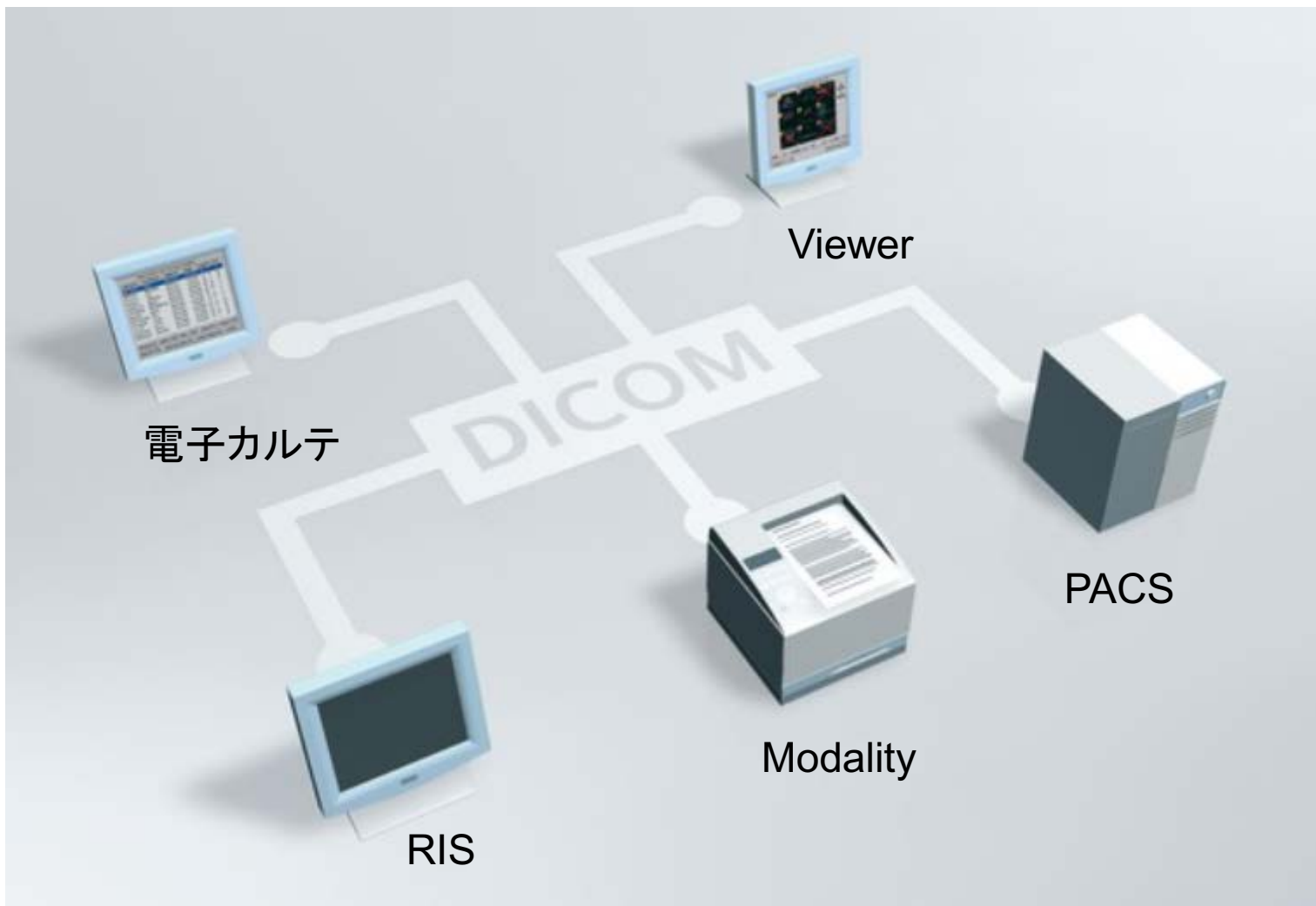
1 DICOM 1

- 1.1 DICOMってなんでしょうか 1
- 1.2 院内で医療画像ネットワークを新規に構築したい 2
 - 1.2.1 画像等の検査情報はデジタルで扱えるようにしたい 2
 - 1.2.2 DICOMを利用する利点はなんでしょうか 3
 - 1.2.3 DICOMとIHEの違いを理解したい 3
- 1.3 DICOMの基本的なことを教えてください 4
 - 1.3.1 DICOMのデータ構造について理解しておきたい 4
 - 1.3.2 DICOMタグについて理解しておきたい 5
- 1.4 タグに関するよくあるトラブルを教えてください 6
 - 1.4.1 タグの使い方に関するトラブル 6

2 RISとモダリティ 7

- 2.1 RISってなんでしょうか 7
- 2.2 RISを医療画像ネットワークと連携させたい 7
 - 2.2.1 DICOMに対応せずにモダリティに検査情報を取り込みたい 7
 - 2.2.2 RISを使って患者検査情報をモダリティに取り込みたい(MWM) 8
 - 2.2.3 モダリティからRISに情報を送信したい(MPPS) 8
 - 2.2.4 RISから取得する検査情報を追加したい 9
- 2.3 RISとモダリティが接続できない 10
 - 2.3.1 RISやモダリティを更新したら接続できなくなった 10
 - 2.3.2 RISやモダリティのソフトを更新したら接続できなくなった 10
 - 2.3.3 突然、RISからモダリティに検査情報が送信できなくなった 11

1. DICOM

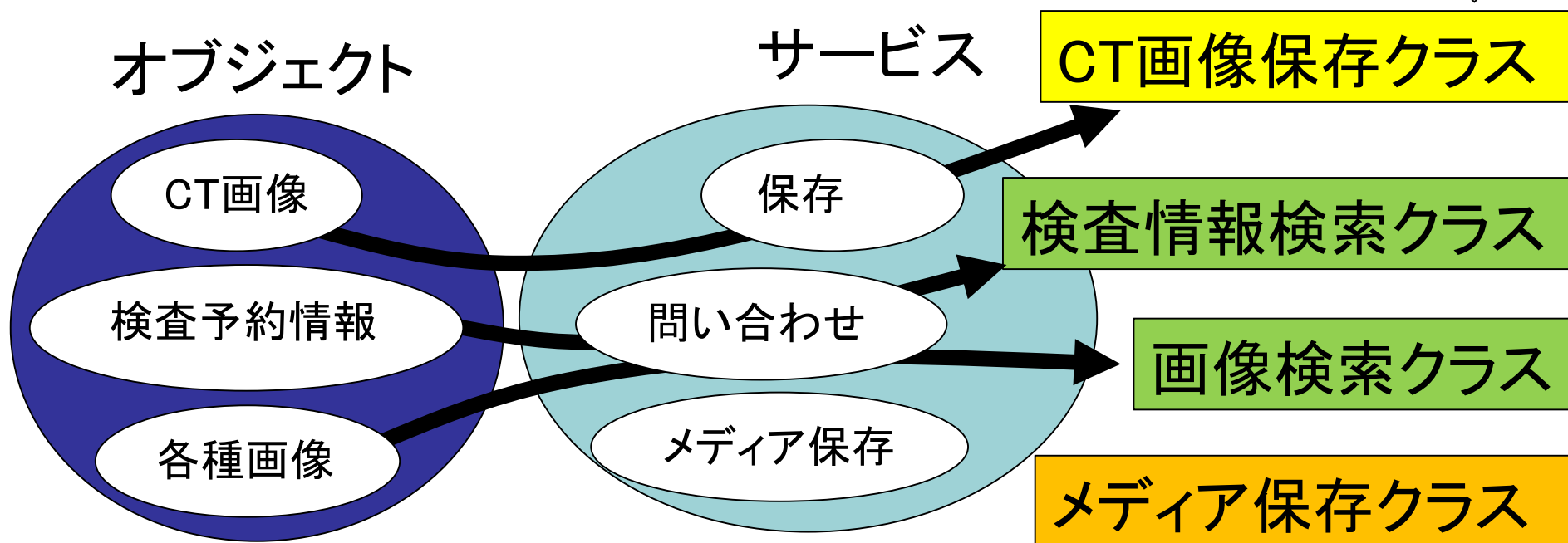
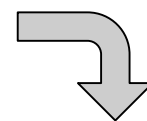


1.1 DICOMってなんですか？

DICOMの基本概念

- 機能をサービスと呼ぶ
- 情報をオブジェクトと呼ぶ
- サービスとオブジェクトの組み合わせをそれぞれ個別に定義する

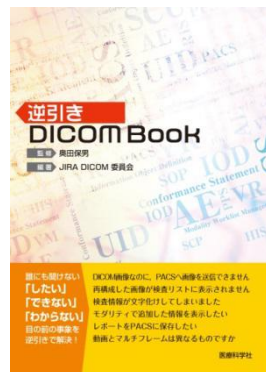
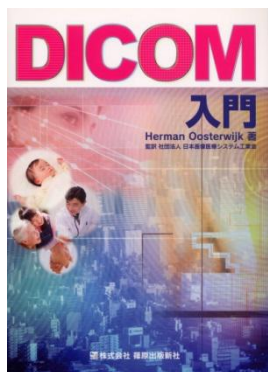
サービスオブジェクトペアクラス (SOPクラス)



2. RISとモダリティ

3. PACSとモダリティ

- DICOM Standard Committee
<http://medical.nema.org/> → <http://www.dicomstandard.org/>
- DICOM News
<http://dicom.nema.org/Dicom/News/Current/index.html>
- JIRA (日本画像医療システム工業会)
<http://www.jira-net.or.jp/index.htm>
- DICOMの世界
<http://www.jira-net.or.jp/dicom/index.html>
- IHE協会
<http://www.ihe-j.org/>



逆引き
DICOM Book



9784860034528



1923047027009

ISBN978-4-86003-452-8

C3047 V2700E

定価 1,980円(税別)

逆引き

DICOM BOOK

監修 奥田保男
編集 JIRA DICOM 委員会

医療科学社

逆引き

DICOM Book

監修 奥田保男

編集 JIRA DICOM 委員会

「こんなとき、どうしたらいいの？」

日常で起こる「トラブルや疑問」を題材に、ユーザが知っておくべき「基礎知識・初期対応」などを中心にまとめました。トラブルの早期解決につながるよう、「ベンダに問い合わせる前に、調べておくべき良い情報」の事例なども整理しています。



「一人でトラブルを解決しなければならぬ！ 身近に頼れる人がいない！」
そんなときに、解決のヒントを救ってくれる「誰か」として使ってください。

ベンダの方へ

私たち技師が「何を知りたいか、どんな解決策を求めているか」を知ってもらうために、日々の業務経験を元にまとめました。営業・サービスの方だけでなく、カタログやマニュアルを作る方にも読んでいただきたい1冊です。

誰にも聞けない
「したい」
「できない」
「わからない」
目の前の事象を
逆引きで解決！

DICOM画像なのに、PACSへ画像を送信できません
再構成した画像が検査リストに表示されません
検査情報が文字化けしてしまいました
モダリティで追加した情報を表示したい
レポートをPACSに保存したい
動画とマルチフレームは異なるものですか

医療科学社

ご清聴 ありがとうございます

End

